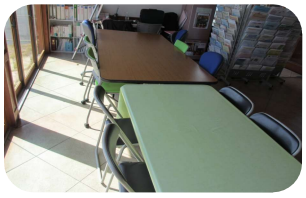
news 活動スペース開放



山武事業所では地域交流の場として活動スペースを開設しております。各種グループ活動や勉強会の場としてご利用ください。10名位のご利用がおすすめです。また、飲料や軽食販売もしております。お気軽にお問合せください。

法人事務局　山武事業所

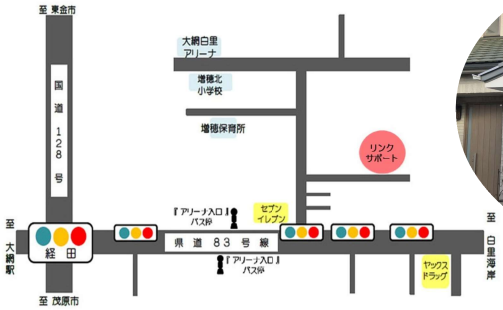
- ○ 中核地域生活支援センター事業　さんネット
- ○ さんぶ生活相談センターリンクサポート
- ○ 千葉県障害者グループホーム等支援事業
- ○ よろず相談センター　ぬくもり

お車の場合
国道126号線をご利用ください
電車をご利用の場合
成東駅下車　徒歩7分

〒289-1345　千葉県山武市津辺171-1

TEL：0475-77-7531（さんネット）
TEL：0475-77-7532（リンクサポート）
FAX：0475-77-7538

大網白里事業所



- ○ 大網白里市生活相談センター
  リンクサポート

〒299-3221

千葉県大網白里市富田2130-7

TEL：0475－72－5439
FAX：0475－72－5452

発行元

特定非営利活動法人リンク

〒289-1345
千葉県山武市津辺171-1

TEL：0475-77-7531
FAX：0475-77-7538

編集後記

コロナウィルスの影響で新しい季節のワクワクする感じがしません。世界中の人が少し疲れているように見えます。黒死病、天然痘、スペイン風邪などこれまで人類が何度も経験してきたことが今また起きています。環境問題、混乱時の人間行動・思想などを、自身がしっかりと向き合い、考えていかなくてはと、近所の桜の下を散歩しました。

発行責任：吉井　編集：リンク広報班

Link

’20年　春号
【 No.3 】

特定非営利活動法人 リンク

人がつながる　地域がつながる　社会がつながる
つながりたい　　かけがえのないあなたと

新年度スタート

2020年のスタートは、未知の新型コロナウイルスという脅威にさらされました。その感染拡大によって、全世界で、日本で、そして私たちの日常生活や経済活動にも大きな影響を及ぼしています。国県では様々な対策を検討していますが、生活困窮者支援の中で感じることは、1か月先はおろか、明日の生活も見えない中で暮らしている方が日に日に増えているという現実です。その方々が欲しいものは、一時的な金銭はもとより、今日の暮らしを明日も、明後日も、一ヶ月先も過ごせる生活保障です。

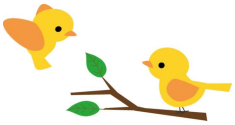
高齢者や障がい者からは感染不安や活動自粛による日々のストレスからか、夜間不眠に陥ってしまう方の相談も増えています。相談者の不安に対して解決できることは多くないかもしれませんが、相談者が何に脅え、何が不安なのかを語っていただきながら、悩みを分かち合いたいと考えています。

今年度は長期化の様相を呈する新型コロナウイルスによる生活への影響に対して、当法人が地域の方々へできることは何かを考えながら活動していきます。また、千葉県では昨年度から台風・大雨・感染症被害で明るい話があまり聞こえてこない状況ではありますが、感染症拡大を乗り越えた先に、当法人としては、地域の方々と諸機関が一緒に地域活動を行える機会、専門職同士が集まり地域の活動を創り上げる機会をいくつも計画しております。詳しくは、随時お知らせしていきますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

新任のご挨拶

宇井菜那と申します。４月よりグループホーム支援ワーカーとしてお世話になることになりました。これまでも知的障がい者のホーム支援業務に関わって参りました。グループホームが生活する皆様にとっての憩いであり、暮らしていく地域とのつながりの場です。共に笑いあえる暮らしの一助となるように努めて参ります。未熟な点も多々ありますが、よろしくお願い致します。

三宅拓登と申します。令和2年よりお手伝いとしてお世話になることになりました。未熟なためまだまだ力不足かもしれませんが、精一杯がんばりたいと思ってます。できるだけ笑顔でハキハキと活動できたらと思います。宜しくお願い致します。



千葉県就労準備支援事業が始まります

愛称：あいリンク

令和２年度より、千葉県より委託を受け、当法人と有限会社あいの手介護サービスが共同事業を開始しました。「さんぶ生活困窮者自立支援事業共同体」として、九十九里町・芝山町・横芝光町にて展開します。

就業が著しく困難な生活困窮者に対し、社会的能力の習得や就労体験、一般就労のための技法、知識の取得支援等を実施し、指導・訓練、就労へとつなげていきます。

一般就労のための基礎能力を身につけることで安定的な就労につき、生活困窮状態からの脱却を図ることを目的とし、生活困窮者自立支援法（法第１０５号）に基づいて実施します。主に、当法人（さんぶ生活相談センターリンクサポート）では、日常生活リズムを整える等の支援やボランティア活動等のコーディネートを担い、あいの手介護サービス（job school.comやfu~fu~cafe）では、作業や職場体験や企業実習等を行います。

生活にお困りで就職活動に、まだ、自信がない方等のご支援をさせていただきます。

詳しくは、さんぶ生活相談センターリンクサポート（0475―77-7532）に、お問合せください。

障害者グループホーム等支援事業

山武圏域の障害者グループホーム（共同生活援助事業所）の数は、2018年［14ヶ所・51ホーム・261名］→2019年［18ヶ所・69ホーム・338名］と飛躍的に伸びました。また、今年度・来年度に開設を考えている法人(会社)もあり、障害のある人がその人らしく地域生活を送るための基盤が徐々に整ってきたとも言えます。

今後は、支援の質の向上を目指し、障がい者の自立した生活とは何か、その人らしい生活とは何かを常に入居者と一緒に考えて、歩んで行ってもらえる、そんな事業所が増えていくよう、グループホームの後方支援を行っていきます。

障害のある人もない人も共に暮らす地域のカタチを一緒に作り上げていきましょう。

（上席GHW吉井）

山武圏域におけるひきこもり支援活動について

2019年度に引き続き、今年度も「山武市市民提案型まちづくり推進事業」が採択され「誰もが住みやすい地域づくり～ひきこもり当事者及び家族の支援～」として、市民公開講座による普及・啓発活動と当事者の会（心のいずみ in さんむ）、家族の会を実施します。

今年度は、市内の関係機関ならびに「ひきこもり支援活動」に関心のある方々のお力をいただき、支援者及び家族、市民が「対話～ダイアログ～」のスキルを身につけ、また、当事者が思いを語る場を根付かせていきます。（赤堀）

大網白里市におけるひきこもり支援活動について

大網白里市のひきこもり事業第二回市民公開講座は「発達障害とひきこもり」～就労支援の現場から～について講演をいただきました。ひきこもり当事者の集いの第一回は参加者の皆さんでカレー作りをし、美味しくいただきました。第二回は参加者の皆さんのアンケートをもとに初詣にでかけ楽しいひと時を過ごし、参加者の皆さんにもご好評をいただきました。

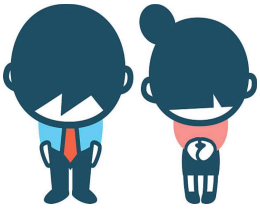
2019年度で見えてきた課題をもとに、2020年度は公開講座の開催と自主運営ができる「家族会」と「当事者の会」（心のいずみ in 大網白里）の土壌形成にむけて活動して行く予定です。（石井）

【今年度のひきこもり支援活動。詳細は公報誌等でお知らせします】

芝山町くらしの相談室[多機関の協働による包括的支援体制構築事業]事業終了のお知らせ

芝山町くらしの相談室は、国のモデル事業である「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」を芝山町から委託を受け、昨年６月以来、皆様のご協力の下業務を続けて参りましたが、本事業終了に伴い、令和２年３月末日をもちまして『くらしの相談室』としての活動を終了することとなりました。

昨年は台風の襲来、豪雨等により町全体が甚大な被害を受けました。しかし、山武圏域、千葉県内だけでなく全国の方々のご支援をいただき人と人のつながり・温かさに改めて感謝する機会となりました。そんな状況の中でも芝山町、横芝光町との協働によりRUN伴2019ちば横芝光☆芝山を開催でき、100名以上の方にお集りいただいたのは今でも鮮明に覚えています。事業終了後も「顔の見える関係」を更に発展させ、相談者等の抱える複合的な課題を包括的に受け止め、重層的な支援を提供できるよう努めてまいりたいと思っております。



尚、皆様方のご支援・ご協力に対し心から感謝申し上げると共に、事業終了にてご迷惑をおかけしますことを、お詫び申し上げます。また、支援の継続が必要な方に関しては適切な機関にて支援継続させていただきますので、今後もよろしくお願い申し上げます。（髙橋）